

平成 29 年度仙台市図書館運営方針・事業計画

1 運営方針

「仙台市図書館振興計画（第二次）」に基づき、最も身近な生涯学習施設として、市民の文化的で豊かな暮らしに資する読書文化を育むとともに、資料や情報の提供によって市民の様々な課題解決を支援していく。

また、図書館以外の施設や専門機関、団体、個人との連携の輪を広げ、市民の多様なニーズに応じたサービスの実現を目指す。

2 めざす図書館像と実現に向けた 4 つの方向性

めざす図書館像「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」

方向性 1 地域の創造性を継承・発展させるとともに、市民の課題解決や探求的活動を支援する地域・市民に役立つ図書館をめざします。

方向性 2 子どもの年齢や障害の有無に応じた図書館サービスを行う、0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館をめざします。

方向性 3 誰もが使いやすく、どこに住んでいても情報が身近に届く、市民一人ひとりに利用しやすい図書館をめざします。

方向性 4 図書館資源の適正配分と適切な評価を踏まえた経営を行う、自らの変革を進める図書館をめざします。

3 平成 29 年度の重点

(1) 図書館情報システムの更新

平成 30 年 1 月に実施する現システムからの切替について、円滑な移行を目指す。

(2) 市民センターを活用したサービススポット（SS）の設置に向けての調整

身近な場所で資料の受取や返却ができるサービススポットの早期実現に向けて、庁内外の関係組織との調整を行う。

(3) 学校貸出資料返却時の資料配送の仕組みづくり

学校連携事業での資料貸出にあたり、資料返却手段を確保することで、学校貸出サービス利用の拡大を図る。

(4) 若林図書館指定管理者の公募

平成 27 年度に地区館で初めて指定管理者制度を導入した若林図書館について、平成 30 年度からの第 2 期の指定管理者の公募を行う。

4 事業計画

(1) 地域や市民に役立つ図書館となるための取り組み

	施策項目	平成 29 年度の主な取組内容
1	文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の学びを支える多様な資料の収集 ・資料と人をつなぐイベントの開催 ・各種ブックリストの提供
2	課題解決に取り組む市民の応援	<ul style="list-style-type: none"> ・調査相談に応じるレファレンスサービス ・全館で利用可能な市民向けデータベースの追加 ・蔵書を持つ専門施設のリスト化、蔵書検索ページのリンク集作成等
3	情報化社会の進展に合った情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの導入 ・ホームページの充実 ・各種電子資料の研究
4	地域の創造性の継承・発展	<ul style="list-style-type: none"> ・伊達政宗生誕 450 年を記念した仙台市全体での取り組みに合わせた展示や行事の開催 ・「震災文庫」資料の継続的収集と活用
5	「学都仙台」を活かした大学図書館等との地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・大学図書館との相互貸借や市民が利用できる大学図書館の紹介 ・蔵書を持つ専門施設の情報収集と案内

(2) 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるための取り組み

	施策項目	平成 29 年度の主な取組内容
1	乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・児童コーナーの資料の充実 ・おはなし会等の本に親しむイベント等の実施
2	障害のある子どもの状況に合ったサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリータイム等の利用しやすい環境づくり ・特別支援学校等への貸出
3	ヤングアダルト世代の読書支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページからの継続的発信 ・図書館サポーター等中高生が参加する取組
4	学校との連携強化による子どもの読書活動の積極的推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校貸出資料返却時の配送サービスの新設 ・学校司書研修の実施や情報交換 ・「家読^{うちどく}」を進める取組
5	家庭、地域などと連携した子どもの創造性を育む読書環境を支える輪の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・養成したボランティアの活動の場の拡大 ・ボランティア支援のための相談会や交流の場の提供

(3) 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるための取り組み

	施策項目	平成 29 年度の主な取組内容
1	どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実	・ サービススポット (SS) の早期実現に向けた調整
2	誰もが使いやすい図書館サービス	・ 障害者関連施設へのニーズ調査結果にもとづくサービスの検討 ・ 英語による基本的な窓口対応のための取組

(4) 自らの変革を進める図書館となるための取り組み

	施策項目	平成 29 年度の主な取組内容
1	仙台市民の財産として資料の計画的収集・保存	・ 長期的な視野に立った、幅広い資料の収集 ・ 集中選書と分担収集による全市的な蔵書の構築
2	図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを推進	・ 時宜に応じたホームページ掲載内容の見直し ・ ボランティア等市民参加の促進
3	図書館資源の適正配分と有効活用	・ 新図書館情報システムへの円滑な移行 ・ 指定管理者制度導入の検証と将来的なあり方の検討
4	図書館サービスの評価をもとにした図書館経営	・ 図書館サービスの他都市調査等 ・ アンケート、意見箱等、利用者ニーズにもとづく改善
5	図書館職員の資質の向上	・ コミュニケーションに関する研修の導入 ・ 研修内容の共有化